沖縄IT産業50年の歩み

1966 1970 1972 沖縄本土復帰 1980 1990 2000 2010 2020 2022

ハードウェアの時代（国産化／リアルタイム処理／小型化／高級言語／ATM）

ソフトウェアの時代（標準OS／PC／OA／光ケーブル／LAN）

ネットワークの時代（パケット通信／インターネット／マルチメディア／テレビ電話・会議／EC／スマートフォン・SNS）

ビッグデータの時代（クラウド／AI／ロボット／IoT／VR／DX）

情報通信技術（ICT）の発展

- 1966 NECが国産で初めてIC回路を全面的に採用した大型機「NEACシリーズ2200モデル500」完成
- 1967 IBMが世界初のプロセッサ・ディスクとドライブを開発
- 1968 ・インテル設立 ・米国各組織が今日のインターネットの原型「ARPANET」運用開始 ・電電公社ポケットベルのサービス開始
- 1969 ・IBMトランザクション処理システム「CICS」発売 ・住友銀行（現 三井住友銀行）が日本初のATM稼働 ・NHKのFM ラジオ、本格放送開始
- 1970 電電公社大阪万博でワイヤレスネットを公開
- 1971 NHK総合テレビがカラー放送
- 1972 ・カシオ電気計算機世界初の電卓「カシオミニ」発売 ・GTファンタジス商品化（通信の自由化）
- 1973 ・NECがオフコン「ACOS」発売 ・「NEACシステム100」発売 ・IBMがワイヤチェスターモデルのハードディスク発売 ・モトローラが世界初の携帯電話を発売
- 1975 マイクロソフト設立 ・アップル・コンピュータ（Apple）設立 ・NECがワンボードマイコン「TK-80」発売
- 1976 ・インテルがマイクロプロセッサ「i8080」発売 ・キヤノンスズキ設立
- 1977 ・アップルがパーソナルコンピュータ「Apple 有」を発売 ・コモドール「PET2001」、タンディ「TRS-80」、ソード「M200」発売 ・日本電気のスーパーコンピュータ「FACOM230-75 APU」が完成 ・モトローラが68032ビット「MC68000」発売
- 1978 ・日立がBit単位システム「ASTRAL」発売 ・東芝が日本語ワープロ「ワンポイント」発売 ・シャープ「スペースインベーダー」発売
- 1979 ・NECが8bitPC「PC-8001」発売 ・ソニー「ウォークマン」発売
- 1980 SONYが世界初のCCDビデオカメラ発売 ・沖電気が今な漢字文節変換機能のオオフコン「OKITACsystemSVシリーズ」を発表
- 1982 ・世界初のCDプレイヤーを国内3社同時発売 ・NECが16bitPC「PC-9801」発売、大ヒットし国産PCの標準になる
- 1983 ・マイクロソフトが「Windows」発表 ・任天堂が「ファミコン」発売
- 1984 AppleがMacintosh（Mac）を発売 電電公社が日本初のビデオテックス「キャプテン」サービス開始
- 1985 ・電電公社が民営化、NTT発足 ・ジャストシステムがワープロソフト「一太郎」を発売 ・通信端末の自由化と共にGAFファクシミリが広く外国とに ・任天堂「スーパーマリオブラザーズ」発売
- 1987 NTTが携帯電話のサービスを開始 ・NTTが「ISDNサービス（ISNネットw64）」開始 ・NTTがシェルターカーのサービス開始
- 1988 ・東芝が世界初のA4サイズのノートパソコン「DynaBook J-3100SS」を発表 ・東芝本社機器 ・IBMのAIXチェスで元世界チャンピオンに勝利
- 1989 ・NECの世界最速（当時）のスーパーコンピュータ「SX-3シリーズ」発売 ・マイクロソフトが初代「Microsoft Office」発売 ・アナログハイビジョン実験放送、BSで始まる ・任天堂ゲームボーイ発売
- 1990 ・東レ・キヤヌ設立 ・東CSKコールセンター設立
- 1991 ・世界で初めてwebサイト開設（欧州高能物理研究所） ・Linuxがリーナスコード公開 ・任天堂ゲームボーイ発売 ・日本半導体安津が決着
- 1992 CSファイブ放送開始
- 1993 ・ソニー「PlayStation」発売
- 1994 ・NTTレンタントが日本法規格書サービス「pocketサービス」提供開始 ・東天市場開設 ・IBMのAIXチェスで元世界チャンピオンに勝利
- 1995 ヤフー設立 ・Amazonがインターネットショッピングのサービスを開始 ・マイクロソフトが「Windows 95」と「Office 95（日本語版）」を発売 ・国内初の携帯端末サイト「Yahoo! JAPAN」サービス開始 ・スカパー！HD放送開始 ・たまごっち発売
- 1996 ・NTTレンタントが日本法規格書サービス「pocketサービス」提供開始 ・東天市場開設 ・IBMのAIXチェスで元世界チャンピオンに勝利
- 1997 ・国内初のソフトウェア開発ジョイントベンチャー ・マルチメディアエフエフ沖縄開発
- 1998 ・マイクロソフトが「Windows 98」を発売 ・アップルが「iMac」を発売 ・アマゾンジャパン株式会社設立 ・コンピュータ2000年問題に関心が集まる
- 1999 ・NTTドコモが「モード対応の携帯電話を発表」、イモードサービス開始 ・ソニーのペットロボット「AIBO」発売
- 2000 ・NPO法人アロハ沖縄規格機構（アロハ沖縄）設立、マルチメディア・アイランド構想を推進 ・トランスコスモス沖縄、MCMセンター沖縄開設 ・沖縄日立ネットワークシステムズ沖縄設立
- 2001 ・FRT株設立 ・沖縄産業支援センターが県に完成 ・沖縄起業者のための全国に先行してETC利用開始
- 2002 ・東フロンティアオキナワ21（現：沖縄ソフトウェアセンター沖縄）設立 ・ITコーディネータ沖縄（現：NPO法人ITコーディネータ沖縄）設立 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査 ・沖縄県商工労働部情報産業振興課設置
- 2003 ・沖縄ITバレー構想 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査
- 2004 ・東フロンティアオキナワ21（現：沖縄ソフトウェアセンター沖縄）設立 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査 ・沖縄県商工労働部情報産業振興課設置
- 2005 ・Youtube設立 ・第一通信ビル HONDAが工業行にロボットASIMO実演
- 2006 ・ディープラーニングの発明
- 2007 ・AppleがiPhoneを発売 ・Twitterが日本語版サービスを開始 ・Facebookが日本語版、一般公開 ・iPhone、日本で発売
- 2008 ・ITバレー構想 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査 ・沖縄県商工労働部情報産業振興課設置 ・ITカレッジ沖縄開設
- 2009 沖縄県が国内外の情報通信関連産業の一大拠点となるための ビッグプロジェクト 沖縄IT津梁パーク開設 ・沖縄IT人材育成協議会設立 ・東沖縄TLO設立 ・東沖縄クロスベット設立
- 2010 ・ITバレー構想 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査 ・ITカレッジ沖縄開設
- 2011 ・ITバレー構想 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査 ・沖縄県商工労働部情報産業振興課設置 ・ITカレッジ沖縄開設
- 2012 ・マイクロソフトが「Office 365」サービスを提供開始 ・UNE通信開始 ・Apple、iPadを発売
- 2013 ・住基ネット、本格的に稼働
- 2014 ・沖縄クラウドネットワーク（旧：ITオアシス）開発 ・IT津梁パークなどの情報産業拠点セリップ区に施設、全面利用開始
- 2015 ・NETFLIXが日本での映像ストリーミングサービス開始 ・ディープラーニングの登場で、AIのブームが再来 ・改正航空法で無人航空機が定義される ・IoT・ビッグデータ・AIの一大ワークエクテーションが創出する新たな領域として、Fintechに注目が集まる
- 2016 ・Facebookがメタに社名変更、メタバースに本格参入 ・富士通と理化学研究所が共同で開発を進めているスーパーコンピュータ「富岳」のプロトタイプ、Green500で世界1位を達成 ・トヨタが実証都市「コネクティッド・シティ」を東富士に設置（Woven City）
- 2017 「マイクロホーム」の本格運用を開始
- 2018 ・首都圏ISP連絡会（旧：NPO法人ITコーディネータ沖縄）が日本初認定 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査 ・沖縄県商工労働部情報産業振興課設置
- 2019 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査 ・沖縄県商工労働部情報産業振興課設置
- 2020 ビッグデータ・AIの一大ワークエクテーションが創出する新たな領域として、Fintechに注目が集まる ・ITバレー構想 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査 ・沖縄県商工労働部情報産業振興課設置
- 2021 ・ITバレー構想 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査 ・沖縄県商工労働部情報産業振興課設置
- 2022 改正個人情報保護法施行

沖縄IT産業の歩み

- 1966 沖縄初のIT企業の誕生 沖縄初のIT企業・南ネ沖縄電子計算センター（現：南オーシャンシー（OCC））設立
- 1970 沖縄初のコンピュータ専門技術者の専門集団、沖縄コンピュータ専門学院開校
- 1972 通貨交換への対応
- 1973 技術研究の開発会社として東リウコム設立
- 1975 ・日本電気ソフトウェア東設立 ・南沖縄事務機器（現：オキシム）が富士通の代理店になる
- 1976 ・東京真空川崎東前方開発校 新校舎完成
- 1978 海洋博システム運営 海洋博管理センター、海洋博管理センター、海洋博管理センター、海洋博管理センター、海洋博管理センター、海洋博管理センター、海洋博管理センター
- 1980 ・米沖縄スキンシャー設立 ・南オキコム設立
- 1981 ・JA沖縄電算センター設立
- 1982 ・米ODNソリューションズ設立 ・国際ビジネス専門学校開校
- 1984 行政・民間支援でIT企業を設立 沖縄総合事務局、沖縄県、産業技術振興協会、沖縄県経営者協会の支援のもと、複数の沖縄県内企業と日本ユニシス社が出資により**株式会社琉球システム**（設立）
- 1985 ・米沖縄富士通システムエンジニアリング設立 ・米コンピュータ沖縄設立 ・中部経済専門学校が情報処理教育を本格化
- 1986 ・日本電気ソフトウェア沖縄センター（旧：NECソフト沖縄）
- 1987 日経ビジネス学校設立
- 1988 沖縄銀行の関連会社として「東エス・ピー・オー設立」 ・沖縄県ソフトウェア事業協同組合設立
- 1989 ・沖縄セルラー電話株設立 ・東ネットワーク設立 ・国際システム沖縄、MCMセンター沖縄開設 ・NCCC、県内初のITシステム・インテグレータ（SI）登録
- 1990 ・東CSKコールセンター設立
- 1991 ・沖縄データセンター設立 ・東ネットワーク設立
- 1992 ・沖縄情報産業技術大学校（沖縄オリックスカレッジ）開校
- 1993 ・東ソフトウェア沖縄設立
- 1994 ・東ソフトウェア沖縄設立
- 1995 ・東OTNet1設立
- 1996 ・東ソフトウェア沖縄設立
- 1997 ・国内初のソフトウェア開発ジョイントベンチャー ・マルチメディアエフエフ沖縄開発
- 1998 ・東ソフトウェア沖縄設立
- 1999 ・東ソフトウェア沖縄設立
- 2000 ・沖縄第一コールセンター産業協議会（旧：東ITオフィス）設立 ・東沖縄情報機器産業技術調査（IBA）設立
- 2001 ・東ソフトウェア沖縄設立
- 2002 ・東ソフトウェア沖縄設立
- 2003 ・東ソフトウェア沖縄設立
- 2004 ・東ソフトウェア沖縄設立
- 2005 ・ビックイクス（現：クオリサイトテクノロジーズ）、名護データセンターのサービス開始
- 2006 ・沖縄IT人材育成協議会設立 ・東沖縄TLO設立 ・東沖縄クロスベット設立
- 2007 ・国内初の本格的な協会関発型のIDCを構成 ・宜野湾オペレーションパーク開設 ・ITカレッジ沖縄開校
- 2008 沖縄県が国内外の情報通信関連産業の一大拠点となるための ビッグプロジェクト 沖縄IT津梁パーク開設
- 2009 ・沖縄IT人材育成協議会設立 ・東沖縄TLO設立 ・東沖縄クロスベット設立
- 2010 ・沖縄データセンター設立
- 2011 ・沖縄データセンター設立
- 2012 ・沖縄データセンター設立
- 2013 ・琉球IT津梁ラリー2013（旧：IT オフ）開催 （一社）沖縄オープンラボラトリ設立
- 2014 首都圏ISP連絡会（旧：NPO法人ITコーディネータ沖縄）設立 ・東ネットアイ、パーソン設立 ・琉球銀行VISAプロセントカード取扱開始
- 2015 ・アジア沖縄IDC協議会設立 ・東ネットアイ、パーソン設立 ・琉球銀行VISAプロセントカード取扱開始
- 2016 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査
- 2017 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査
- 2018 （一社）沖縄IT イノベーションを活用し、新たな価値創造を実現 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査
- 2019 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査 ・沖縄県商工労働部情報産業振興課設置
- 2020 ビッグデータ・AIの一大ワークエクテーションが創出する新たな領域として、Fintechに注目が集まる ・ITバレー構想 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査 ・沖縄県商工労働部情報産業振興課設置
- 2021 ・ITバレー構想 ・沖縄県情報通信関連産業技術調査（IT）調査 ・沖縄県商工労働部情報産業振興課設置
- 2022 改正個人情報保護法施行

沖縄県の施策

- 1972 沖縄本土復帰（5.15） 日本政府全面支援、総合開発計画策定、沖縄振興開発特別措置法、沖縄振興開発金融公庫、沖縄開発庁、沖縄総合事務局、沖縄県庁、沖縄県企業局、沖縄県土地開発公社、沖縄県住宅供給公社、沖縄県文化振興会、沖縄県観光コンベンションビューロー、沖縄県観光コンベンションビューロー、沖縄県観光コンベンションビューロー